



錦戸 佑佳さん バルーシ・ユーセフさん  
Nishikido Yuka Berouche Yousef

にしきど ゆか、バルーシ・ユーセフ（熊本市）  
セフ / 外国語指導助手。海外生活の経験から子どもたちに生きた英語を伝える。

## 楽しい英語の授業で子どもたちに世界を知るきっかけを届ける

「私たちの授業を通して外国の文化や暮らしに興味を持ってもらい、将来海外で生活したい、働きたいと思う子どもたちが増えてほしい」と話すのは町内小・中学校での英語教育をサポートする、錦

戸佑佳さんとバルーシ・ユーセフさん。

ALT（外国語指導助手）は、町教育委員会に所属し、主に英語教育を支援するもので、町内小中学校の英語の授業に参加し、担当教員を補佐。

子どもたちとの交流を通して、異文化理解のきっかけづくりにも取り組む。

昔から日本の文化や歴史に興味を持ち、たびたび日本を訪れていたイギリス出身のユーセフさんは、もっと日本の文化を理解するために異国での生活を決意。甲佐町の自然の美しさや地域の人々の温かさに触れながら、日本について理解を深めつつ、イギリ

スの文化を甲佐の子どもたちに伝えることにやりがいを感じるという。「子どもたちは学んだばかりの英語で話しかけてくれます。私はその懸命な姿を見ると、とても幸せな気持ちになります」と笑顔を見せる。

子どもたちに英語の楽しさを伝えたいという錦戸先生は、歌やゲームを通して、子どもたちが楽しく学べる授業を心掛ける。「英語の上達に大切なのは、英語を好きになること。授業でそのきっかけを見つけてほしい。家庭では、音楽を聞いたり異国を旅する番組を見たりすることで、外国への関心が高まります。保護者の皆さんは、子どもたちが異文化に触れる機会をつくってもらえたら」と錦戸先生。

「英語を話せると、多くの国の人と友達になれるだけでなく、就職や海外留学といった人生の選択肢も広がります。子どもたちの秘められた無限の可能性を活かすためにも、英語を楽しんでほしい」と話す2人は子どもたちの明るい将来を見据える。

## 広報 こうさ

2022年（令和4年）7月号  
通巻636号